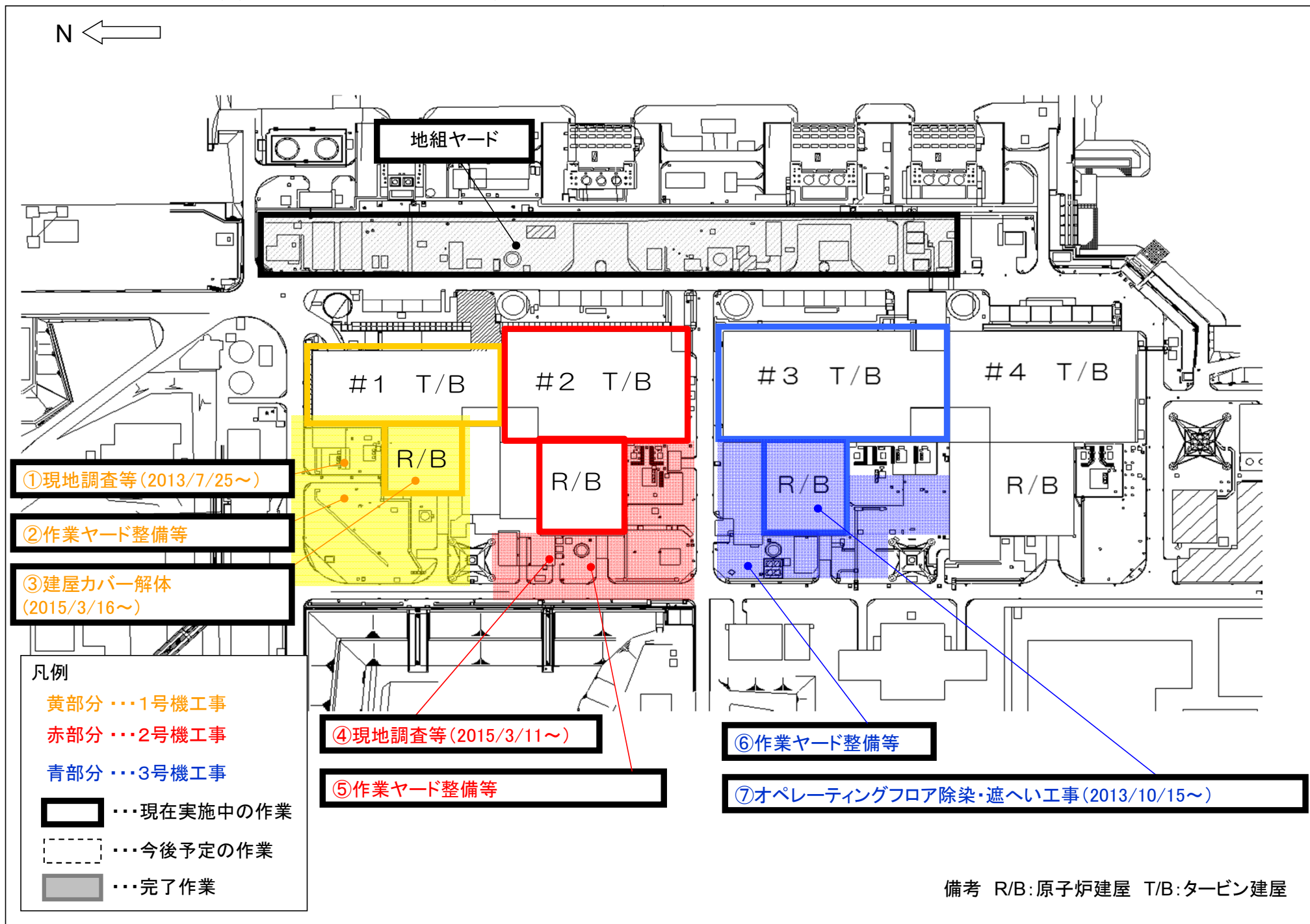


使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	3月			4月			5月			6月			7月	備考
				27	3	10	17	24	1	8	15	下	上	中	下		
キャスク製造	構内用輸送容器の製造	(実績) ・構内用輸送容器製造中 (予定) ・構内用輸送容器製造中	調達・移送	構内用輸送容器の製造						(2017年下期頃完成予定)						・28基目までは使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に設置済み	
				29基目						(2016年11月頃完成予定)							
	30基目						(2016年12月頃完成予定)										
	31基目						(2017年1月頃完成予定)										
	32基目						(2017年4月頃完成予定)										
	33基目						(2017年5月頃完成予定)										
	34基目						(2017年6月頃完成予定)										
	35基目						(2017年7月頃完成予定)										
	36基目						(2017年8月頃完成予定)										
37基目						(2017年9月頃完成予定)											
共用プール	共用プール燃料取り出し 既設乾式貯蔵キャスク点検	(実績) (予定)	検討・設計 現場作業														
仮保管設備	乾式キャスク仮保管設備の設置	(実績) (予定)	検討・設計 現場作業														
研究開発	使用済燃料プールから取り出した 燃料集合体の長期健全性評価	(実績) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発 (予定) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発	検討・設計	【燃料集合体の長期健全性評価技術開発】 (湿式保管評価)												照射材材料調査 追加	
				(乾式保管評価) 乾式保管時の燃料健全性確認試験													
				未照射材/照射材試験片加工													
				【長期健全性評価に係る基礎試験】 移行拳動試験													
評価																	
			現場作業													燃料部材輸送	

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



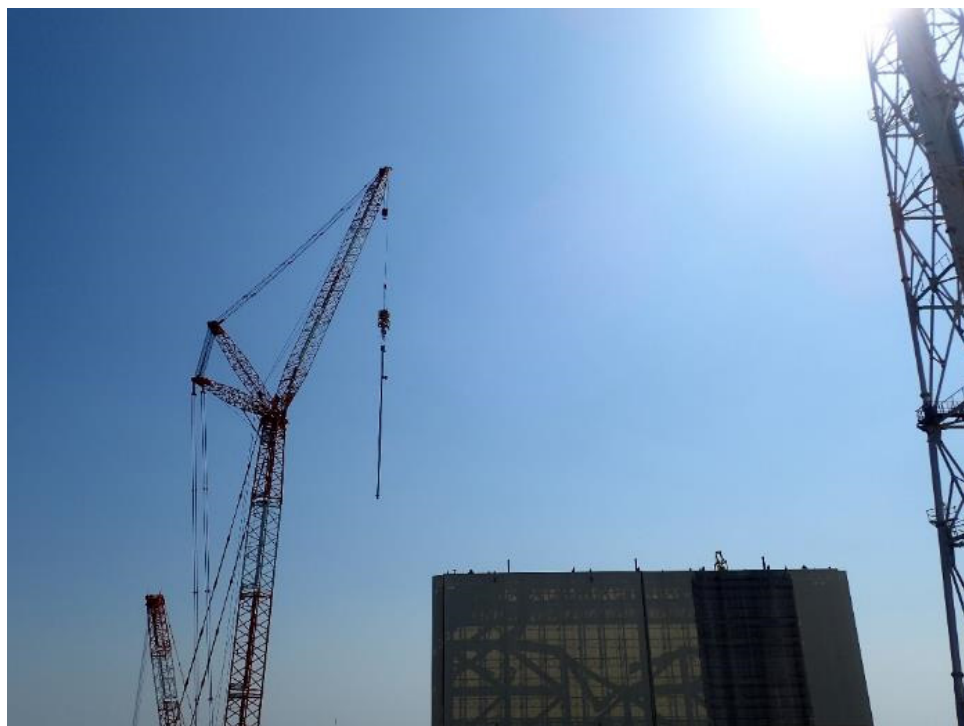
福島第一原子力発電所 1号機
建屋カバー解体工事の進捗状況について **TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

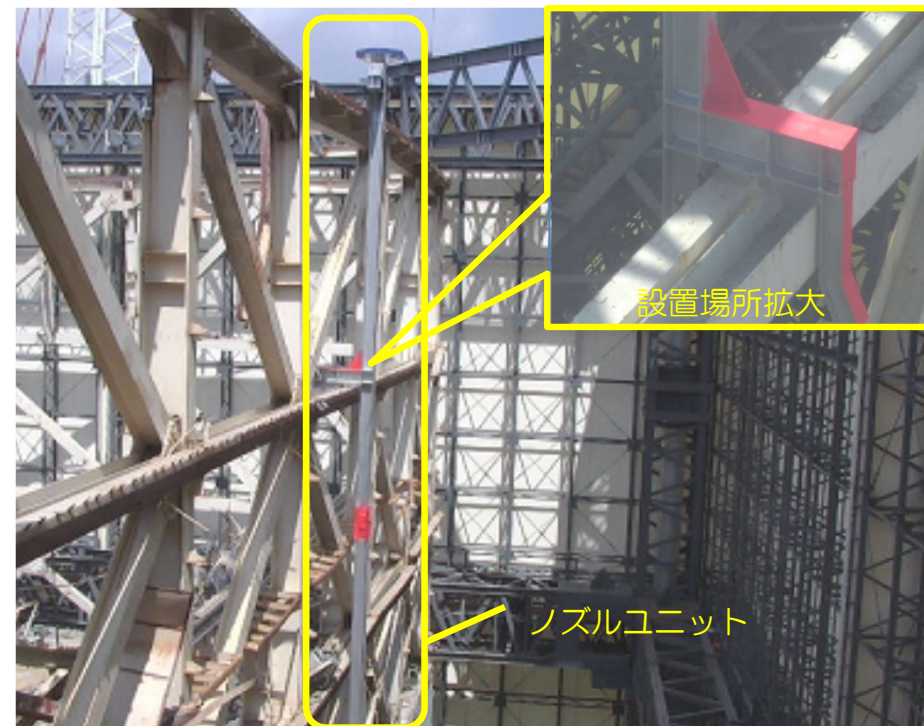
2016.04.28

建屋カバー解体工事の進捗状況

- 建屋カバー解体工事は、2月4日より、散水設備（散水ノズルまでの配管設備等）工事を開始し、4月6日よりオペレーティングフロア上に設置する散水設備のノズルユニット設置を開始
- 4月25日現在、ノズルユニット13体設置の内、11体（東面5体、西面6体）設置済
- その間、作業に伴うダストモニタ・モニタリングポストに有意な変動、警報発報はなし



ノズルユニット吊り上げ状況



ノズルユニット設置状況（東面）

1号機建屋カバー解体工事の作業状況写真

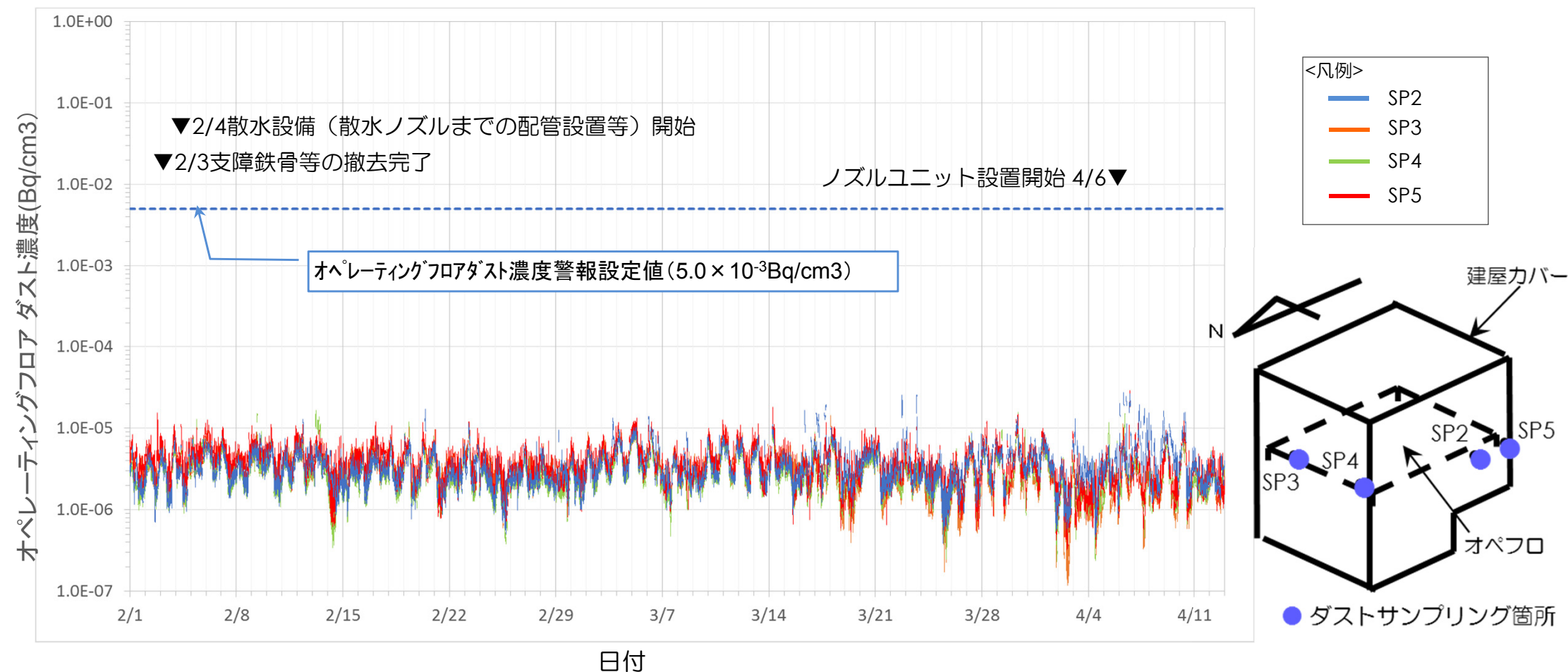
オペレーティングフロアの空气中的放射性物質濃度

■ オペレーティングフロアの各測定箇所における、2016年2月1日～2016年4月12日までの「空气中的放射性物質濃度」を以下のグラフに示す

■ 各作業における空气中的放射性物質濃度

- オペレーティングフロアダスト濃度警報設定値※ ($5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$) に比べ低い値で推移した

※ 敷地境界モニタリングポスト近傍のダストモニタ警報値より設定した公衆被ばくに影響を与えないように設定した値



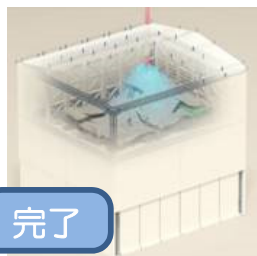
建屋カバー解体工事の流れ

- 今後の建屋カバー解体工事の流れは、以下のとおり。なお、建屋カバー解体期間中、定期的に飛散防止剤を散布(1回/月)する

準備工事
解体に必要な装置、クレーンの整備

完了

- 飛散防止剤散布(屋根貫通散布)



完了

- 屋根パネル1枚目取り外し
- オペフロ調査



完了

- 屋根パネル1枚目取り外し部分から飛散防止剤散布
- オペフロ調査



完了

- 屋根パネル残り5枚の順次取り外し
- オペフロ調査
- 風速計設置



完了

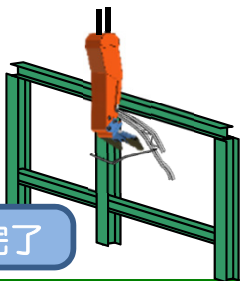
- オペフロ調査



完了

- 支障鉄骨撤去(散水設備設置のため)

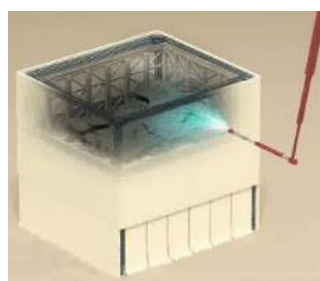
完了



- 散水設備の設置
- 小ガレキの吸引



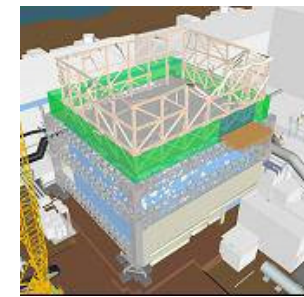
- 壁パネル取り外し前の飛散防止剤散布



- 壁パネル取り外し
- オペフロ調査



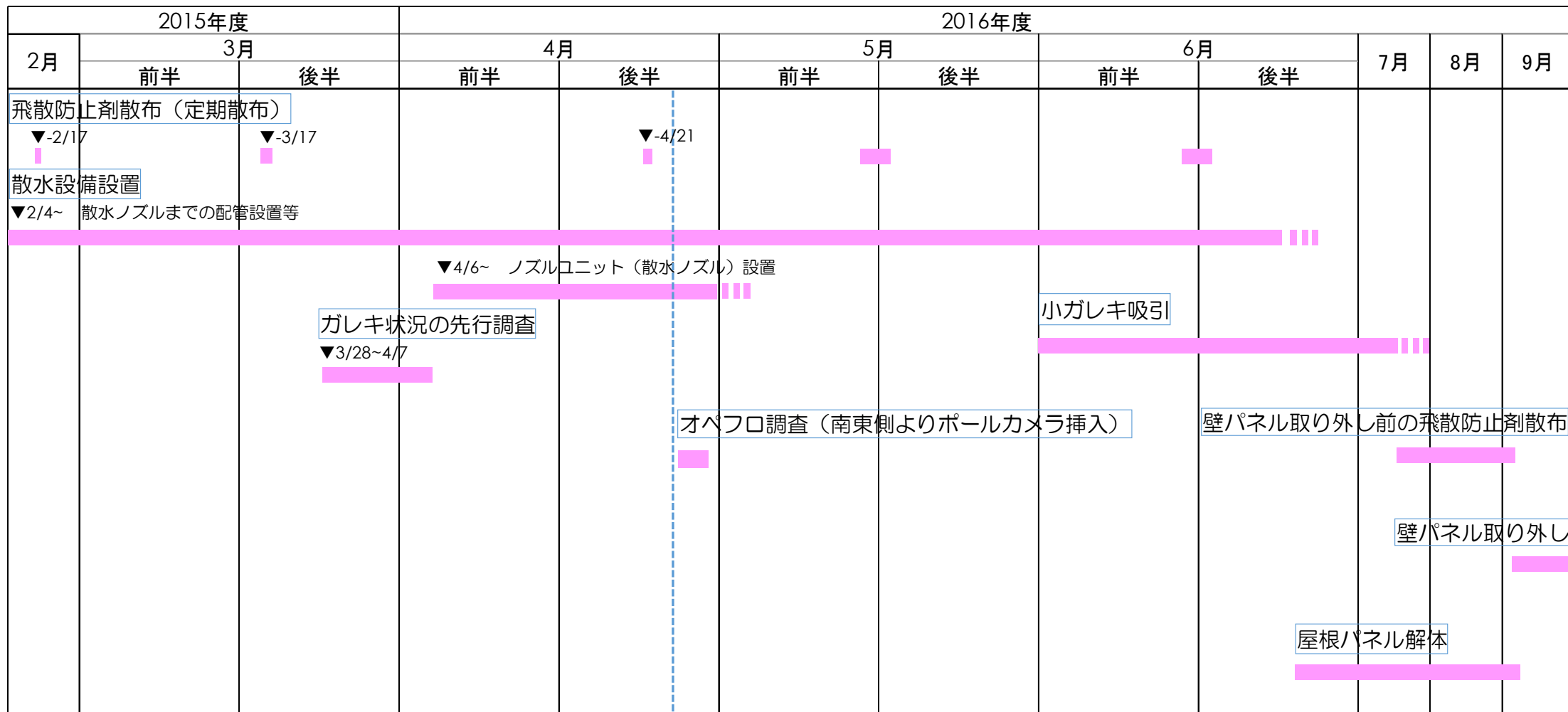
- 防風シート取付等(壁パネル解体後取付)



現在実施中

至近の建屋カバー解体スケジュール

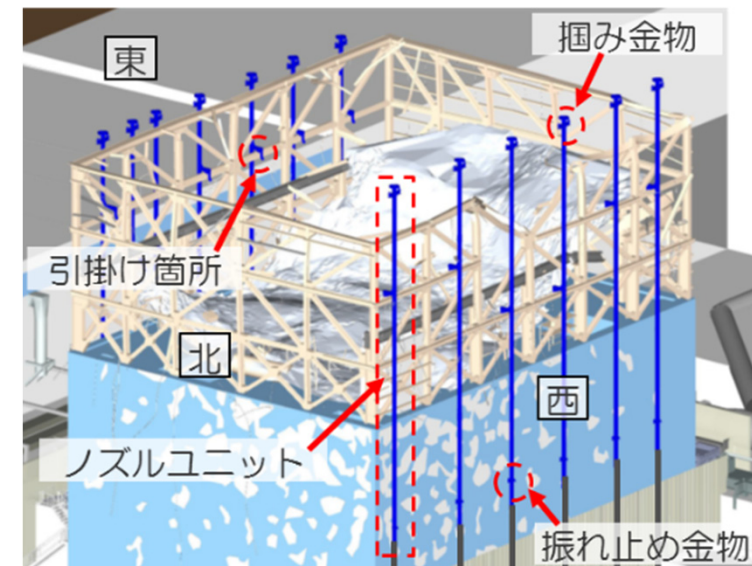
- 4月6日よりノズルユニット（散水ノズル）の設置を開始
- 4月26日よりオペフロ調査（南東側よりポールカメラ挿入）を開始予定
- 小ガレキ吸引を6月上旬開始予定



※他工事との工程調整、現場進捗、飛散抑制対策の強化等により工程が変更になる場合がある

散水設備設置 ノズルユニットの設置状況

- 4月25日現在、ノズルユニット13体設置の内、11体（東面5体、西面6体）設置済
 - ノズルユニットは、東面7箇所、西面6箇所、計13箇所設置
 - 散水ノズルは2種類（散水量：約15ℓ/min、約22ℓ/min）を使用



散水設備イメージ（鳥瞰図）



吊り上げ状況（東面）



設置状況（東面）



吊り上げ状況（西面）

ノズルユニット設置状況写真

小ガレキ吸引作業の概要

■ 目的

ダスト飛散の要因となりうる、崩落屋根上のルーフブロック等の小ガレキを壁パネル取り外し前に吸引※し、ダスト飛散を抑制する

※燃料取り出しプール（SFP）上部を除く

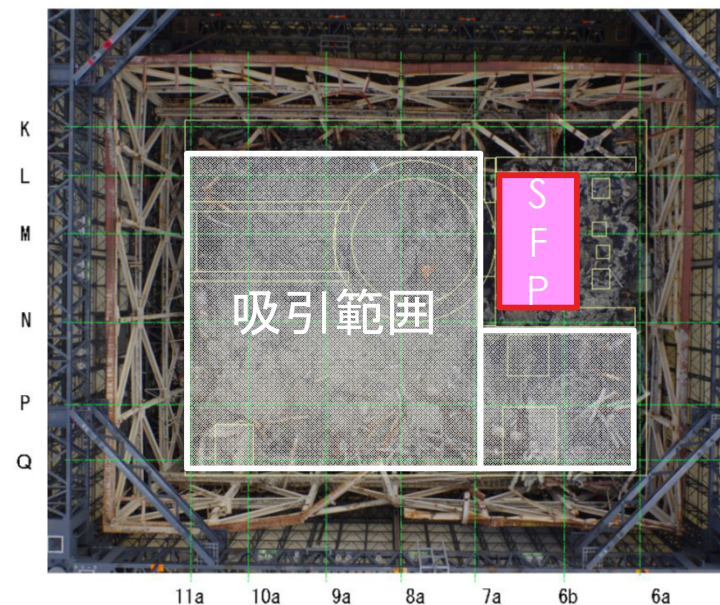
■ 作業中における監視体制

空気中の放射性物質濃度は、オペレーティングフロアのダストモニタ等で常時監視

■ 緊急対応

各種ダストモニタ警報発報時、飛散防止剤の緊急散布又は、飛散防止剤散布装置を用いた緊急散水を実施

■ なお、ガレキ状況の先行調査（P7）で、調査範囲の小ガレキ吸引作業を行ったが、その間、ダストモニタ・モニタリングポストに有意な変動はなかった



小ガレキ吸引範囲



小ガレキ吸引装置



小ガレキ吸引作業中

ガレキ状況の先行調査[速報]

- 3/28～4/7にかけ、崩落屋根下のガレキ状況調査のために準備した、調査手法・調査装置が適用できるかを実機で確認
- コア抜きしたスラブに能動スコープカメラを挿入し崩落屋根下のガレキ状況を確認
- 現在、調査結果の精査中であり、精査後、本格調査の検討を進める

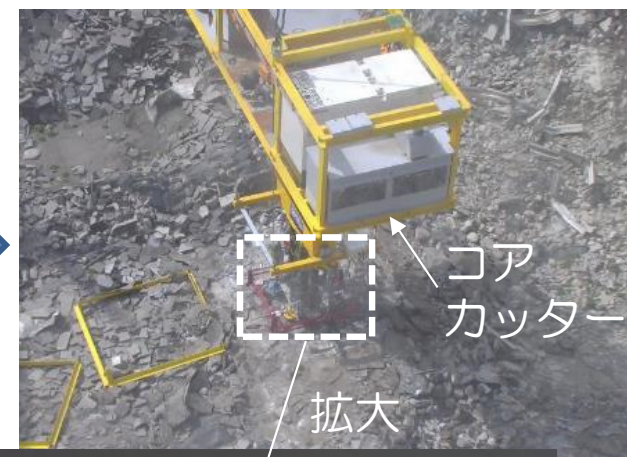
①小ガレキ吸引



②防水層剥がし



③調査孔の削孔



④能動スコープカメラ調査



福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋 オペレーティングフロア除染・遮へい工事について

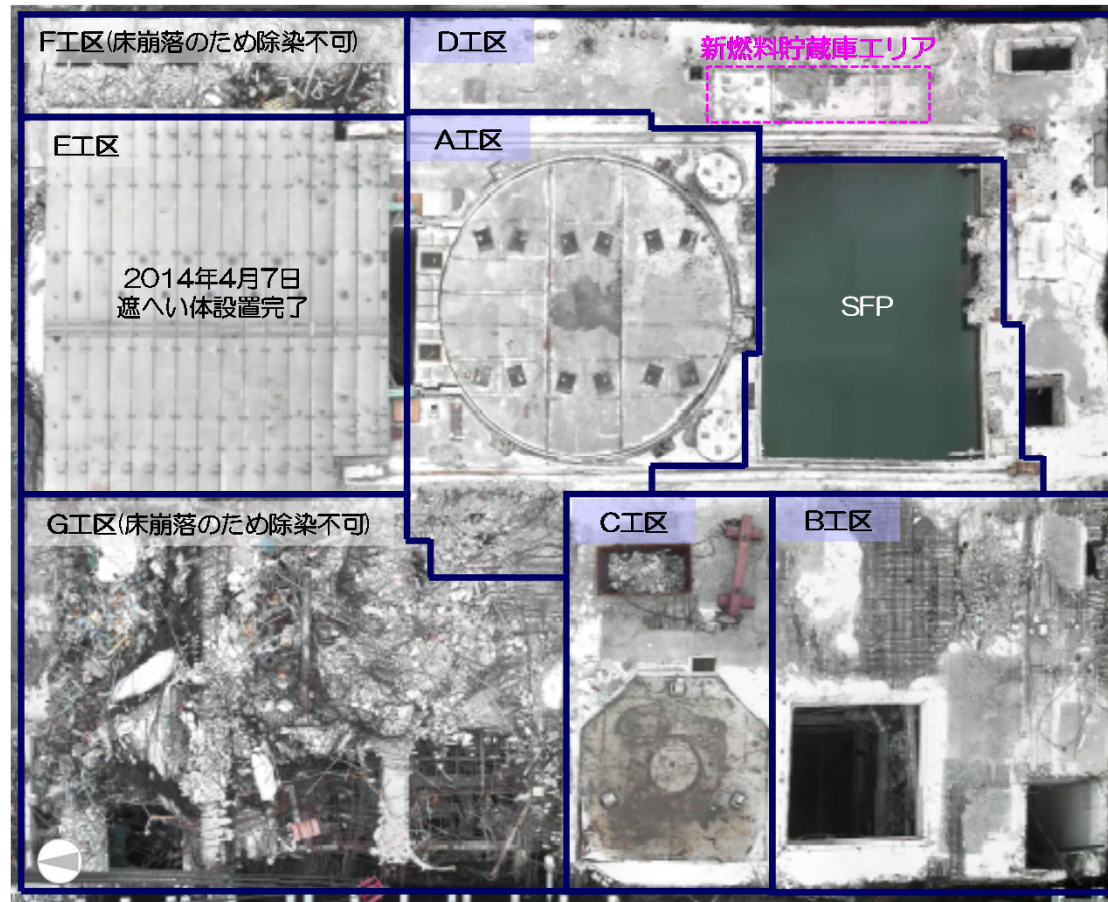
2016年4月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

オペレーティングフロアの線量低減対策概要

- プール内燃料取り出しに向けてオペレーティングフロア（以下、「オペフロ」）上で有人作業を行うエリアの環境線量を低減することを目的に、オペフロ上において除染および遮へい体設置を実施中。
- そのうち、オペフロ除染については新燃料貯蔵庫エリア(蓋の撤去を計画)を除き2016年3月までに一連の作業を終えた。
- 2015年10月に実施したγスペクトル測定結果から、オペフロ上の主要線源は散乱線の大きくなるような領域(表面ではない場所)にあると推定されることから、今後は除染から遮へいに移行する段階にあると判断。



3号機オペフロ線量低減工区（合成写真 撮影日:2016.2.20）

オペフロ除染で使用した主な装置

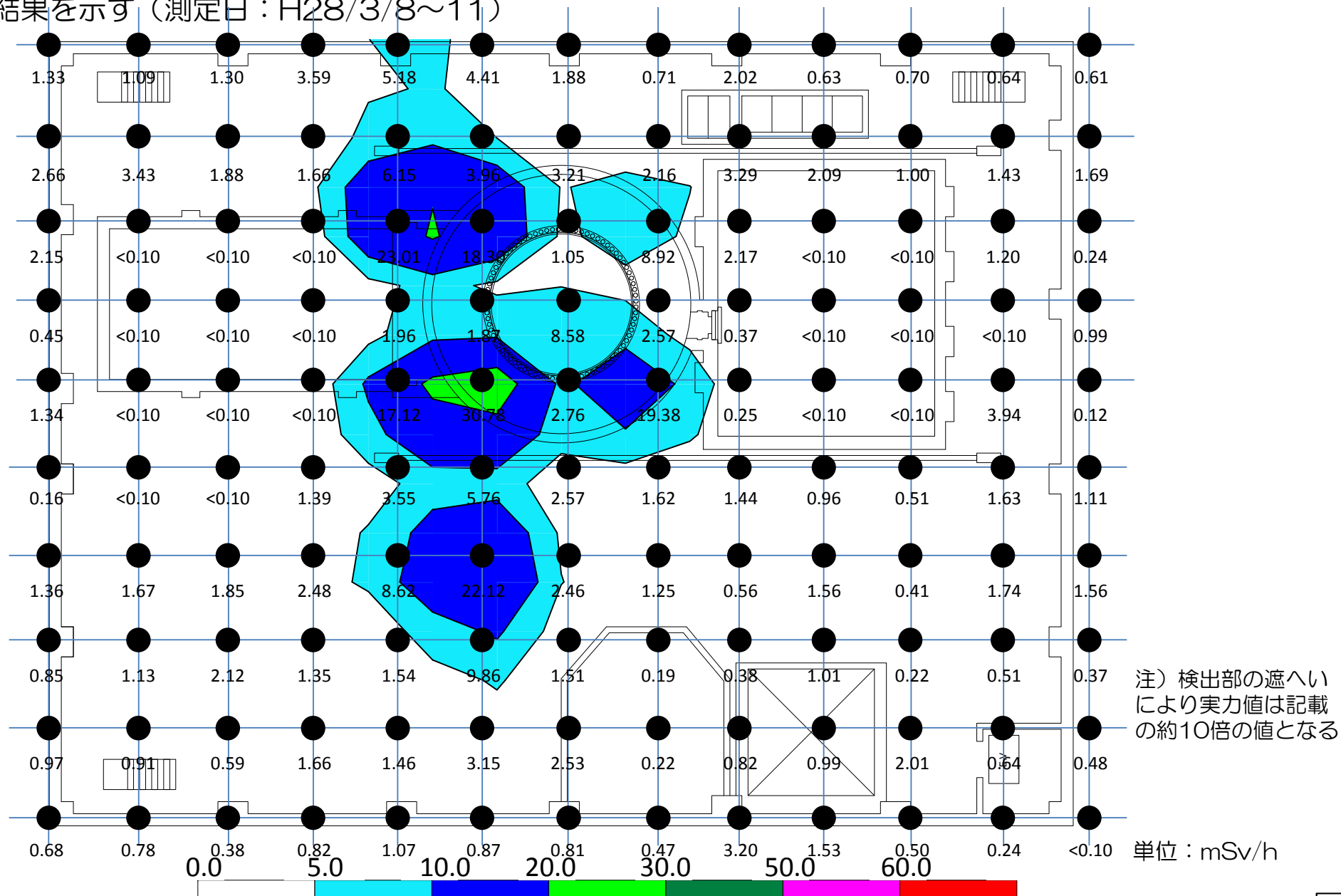
■ 除染作業は、無人遠隔装置を600tクレーンで吊り下げて実施した。

瓦礫集積装置	小瓦礫吸引装置	切削・吸引装置	高圧水切削・吸引装置	瓦礫回収
小瓦礫の集積作業	小瓦礫や粉塵等の吸引除去作業	コンクリート表層の切削・吸引除去作業	高圧水による床表層の切削除去 金属部の洗浄	瓦礫の回収や切断作業

※吸引装置の排気はフィルターで除塵してダストの飛散抑制を行なった。

除染完了後のオペフロ上50cm高さの床面からの線量寄与

- 除染完了後に実施したオペフロ上50cm高さでのコリメート付き線量計により床面からの線量寄与を測定し結果を示す（測定日：H28/3/8～11）

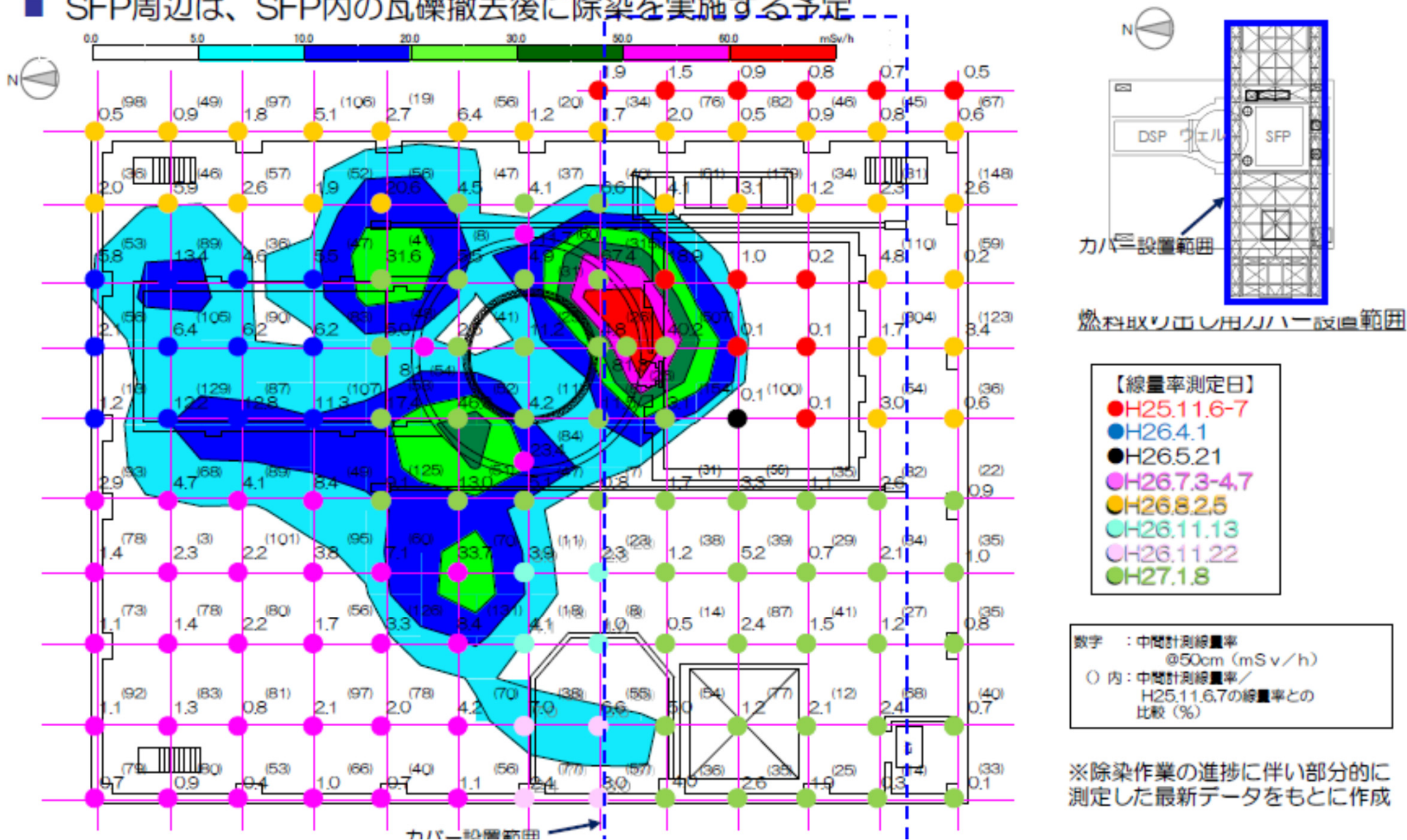


過去の測定結果（床面からの線量寄与）

H27.7.1監視・評価検討会資料より抜粋

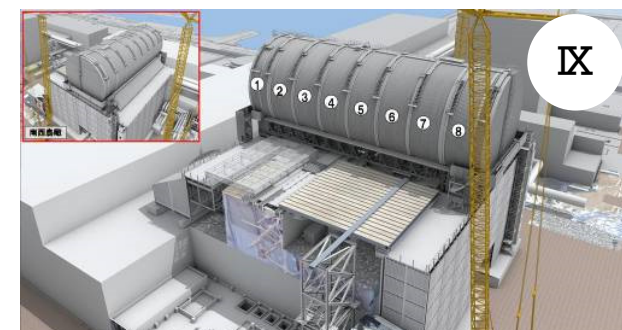
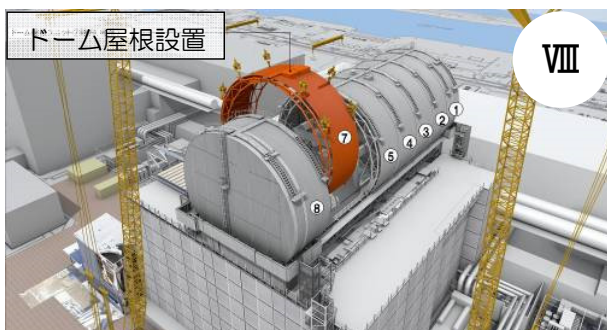
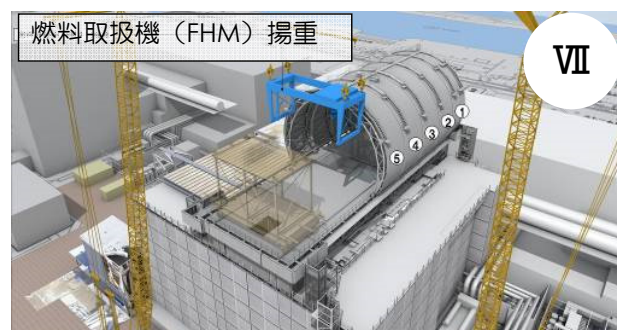
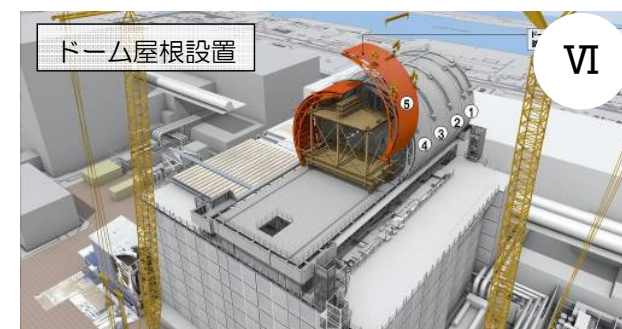
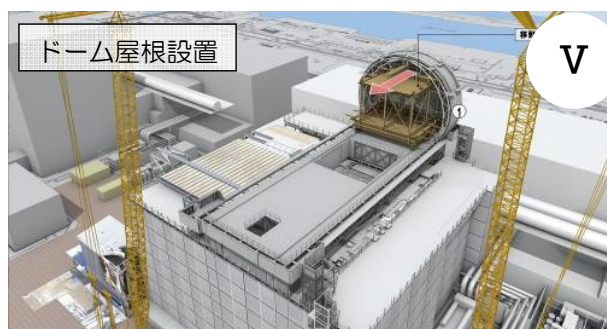
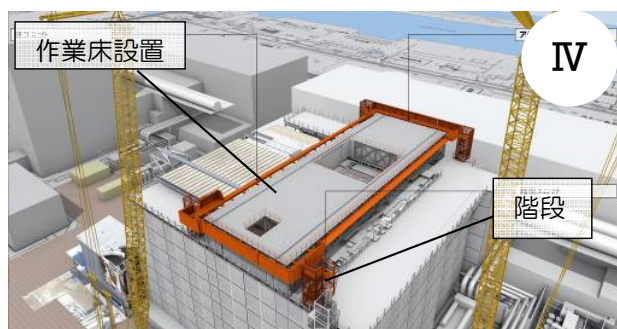
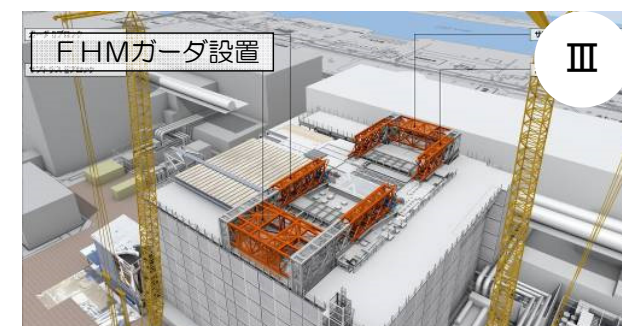
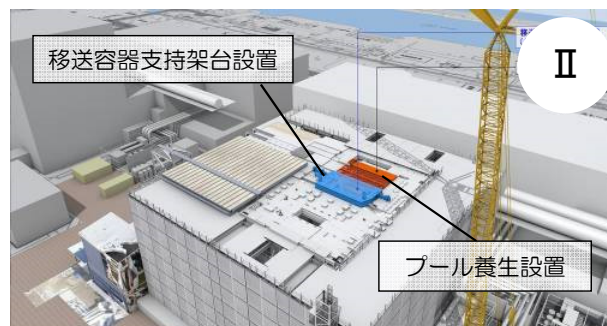
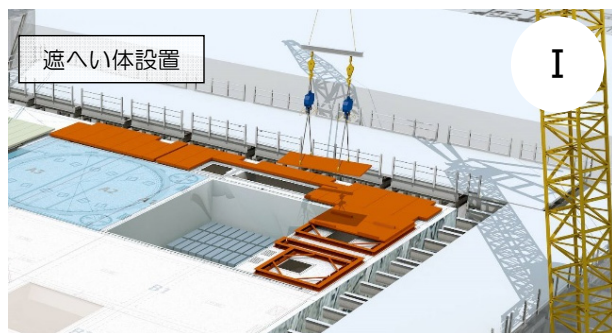


- 現在のオペフロ+50cm高さでのコリメート付き線量測定装置による測定値は以下の通り
- SFP周辺は、SFP内の瓦礫撤去後に除染を実施する予定



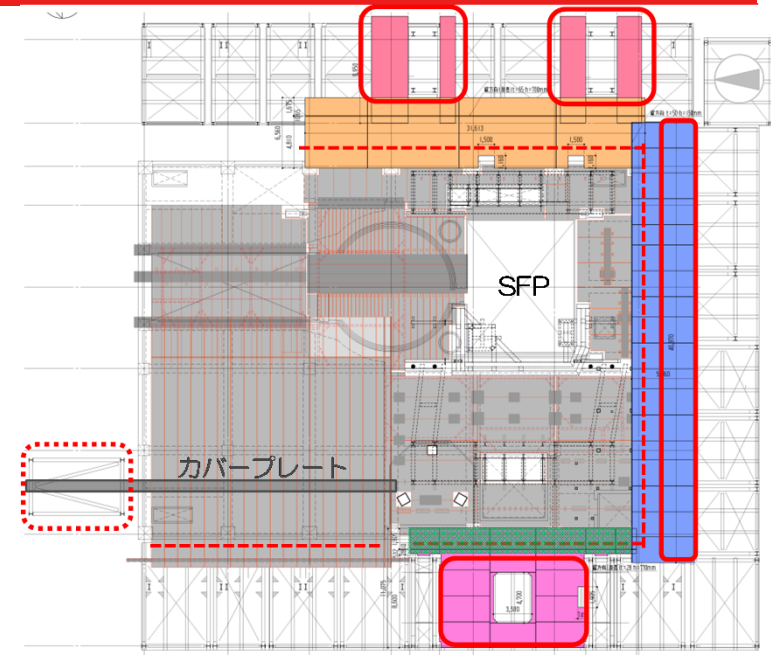
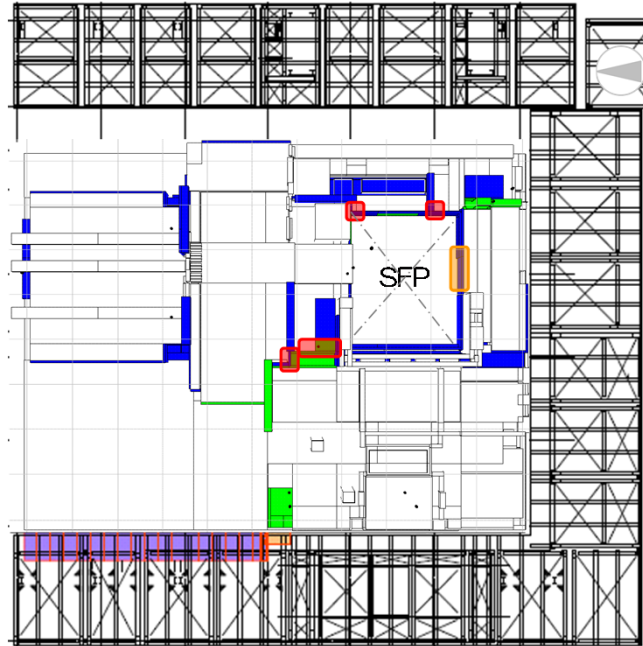
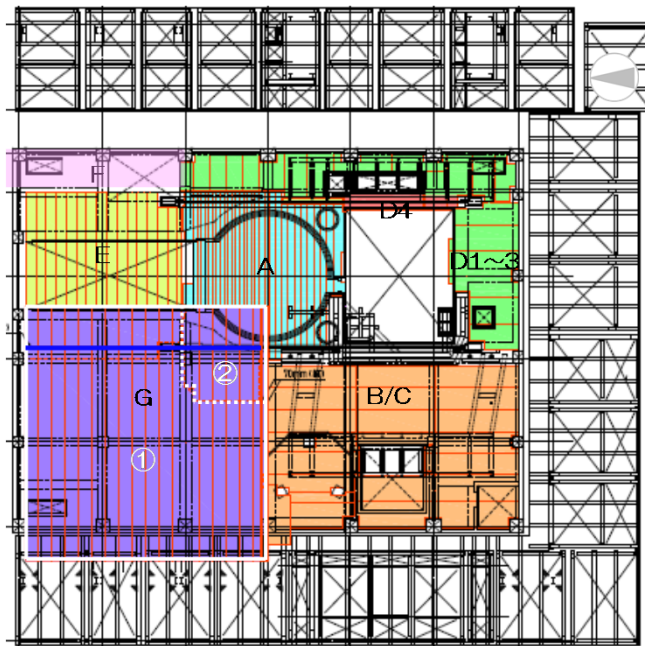
カバー・燃料取扱設備等の設置手順イメージ

- ステップ I のオペフロ遮へい体設置までは、遠隔操作による無人作業を計画。
- ステップ II ~ III は、線量の高いオペフロ上が主な作業場所となり、ステップ IV 以降は、オペフロ+約6m 高さでの作業が主な作業場所となる。



- 遮へい体は、大型遮へい体・補完遮へい体・構台間遮へい体の3種類(次ページ参照)に分類される。
- 設置方法については、補完遮へい体・構台間遮へい体の設置作業の一部でオペフロ上の有人作業があるものの、ほとんどの作業はクレーンを遠隔操作して行われる。
- 設置の順番については、大型遮へい体をA→BC→G→D→Fの工区順で設置して全工区完了後、その他の遮へい体を設置する計画である。
- A工区については、第Ⅰ期の遮へい体設置を4月12日より開始、4月22日に完了した。(設置作業の状況は9ページ参照) 第Ⅱ期は夏頃実施予定。
- 全ての遮へい体の設置に約8ヶ月を要する見込み。
- 遮へい体の設置により、オペフロ上の空間線量率が有人作業実施可能レベル(オペフロ上有人作業に伴う作業員の被ばく線量が各企業が定めている許容値以内に収まるレベル)にまで低減する見込み。

遮へい体設置計画



凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
A	鉄板250mm	1/1000 以上
D1~3	鉄板200mm	1/100 以上
E	鉄板150mm	1/50 以上
D4	鉄板100mm	1/10 以上
B/C	鉄板65mm	1/6 以上
G	鉛毛マット16枚重ね ※鉛毛マット下地材：鉄板32mm ※図中①：下地材 + 鉛毛マット 図中②：下地材のみ 下地材の下に鉄板250mm敷設	①/ 90 以上 ②/1000 以上
F	鉛毛マット16枚重ね	1/90 以上
—	鉄板70mm (縦方向設置)	1/6 以上

工区毎に設計した遮へい体

大型遮へい体

凡例	材質	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板	1/10 以上
■	鉄板	1/100 以上

■ 有人作業による設置箇所 (隙間5~20cm箇所)
材質：鉛板マット

■ 有人作業による設置箇所 (ファン不着脱器上部)
材質：鉛毛マット

大型遮へい体間 (割付境界) に
生じる隙間を補完する遮へい体

補完遮へい体

凡例	厚さ	遮へい効果 (設計目標)
■	鉄板65mm	1/6 以上
■	鉄板50mm	1/5 以上
■	鉄板28mm	1/3 以上

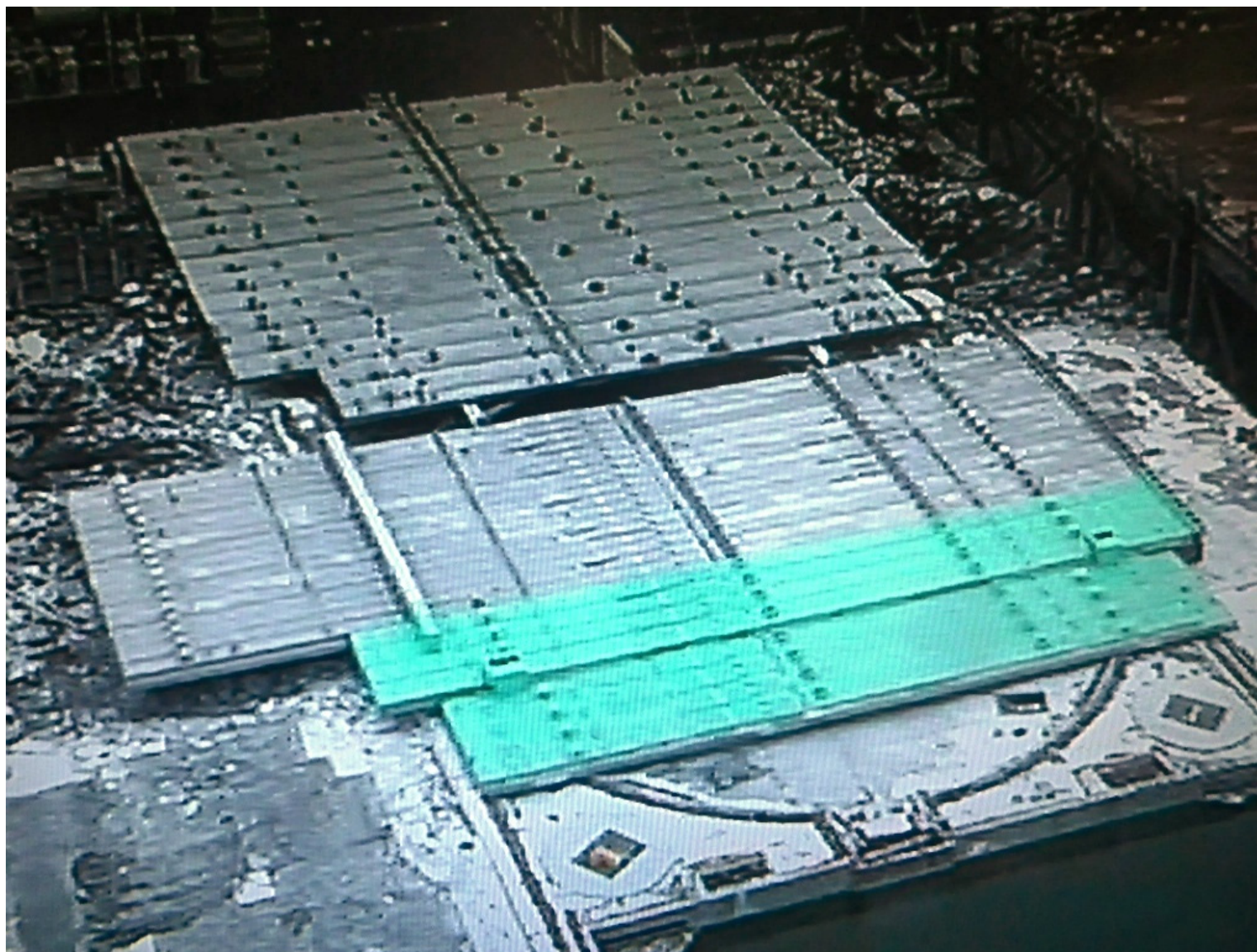
○ 有人作業箇所 (覆工板撤去)

--- 有人作業箇所 (既設手摺撤去)

○ 有人作業箇所 (G工区北側架構接続)

原子炉建屋と作業構台の離隔部の
オペフロFL面に掛ける遮へい体

構台間遮へい体



4月22日現在の状況（第I期設置完了）

福島第一原子力発電所1号機 750トンクローラクレーン1号機の不具合について

東京電力ホールディングス株式会社

2016.04.28

TEPCO

1.発生内容および時系列

■ 発生内容

1号機原子炉建屋カバー解体工事において、原子炉建屋北西ヤードで揚重作業を終えた750トンクローラクレーン1号機（以下750tC/C）が停止位置についたところ、ブームの旋回体から作動油（約150L）が漏えいした。

■ 時系列

平成28年4月18日（月）

10:15 揚重作業を終え、750tC/Cのアンカーを取り、停止

10:20 旋回体下部からの油漏れを発見、油回収作業開始

10:40 双葉消防本部出動

11:59 漏えい停止、残油の抜き取りを継続実施

12:13 双葉消防本部より危険物の漏洩でないとの判断

13:45 油の回収作業完了



作動油漏えい状況

平成28年4月20日（水）

損傷した作動油ホースの取り替えおよび、クレーンの動作確認を実施

✓ 本対応は、原因調査、調達、修理を含め2日間で完了した

2.原因と対策

■ 発生要因

[物的要因]

- ✓ 油圧の振動や変位による擦れのため、作動油ホースに亀裂が生じたと推定している

[管理的要因]

- ✓ 擦れ防止のため、作動油ホースには緩衝材を巻いていたため、目視確認が困難であった

■ 対策

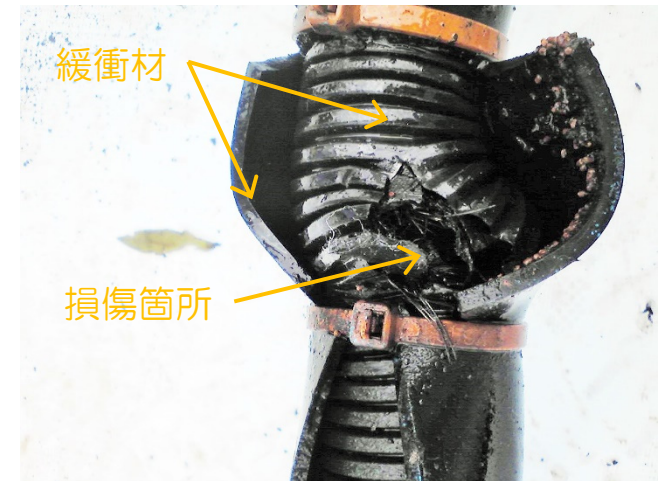
- ✓ 同様な箇所について調査を行い、接触箇所にも緩衝材を設置する
- ✓ 作動油ホースに巻く緩衝材は目視確認を考慮し、視認性のよい素材へ仕様を変更する

■ 水平展開

- ✓ 1号機で使用している750tC/C2号機および、3号機で使用している600tC/Cにおいて、4月20日に点検し類似事象のない事を確認した

■ 大型クレーンの保全について

- ✓ 過去の不具合事象を踏まえ、予備品を準備する等、計画的な保全を実施して行く



作動油ホースの損傷状況



接触箇所補修状況

福島第一原子力発電所3号機 600tonクローラクレーン1号機の不具合について

2016年4月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

■ 発生状況

平成28年4月5日（火）

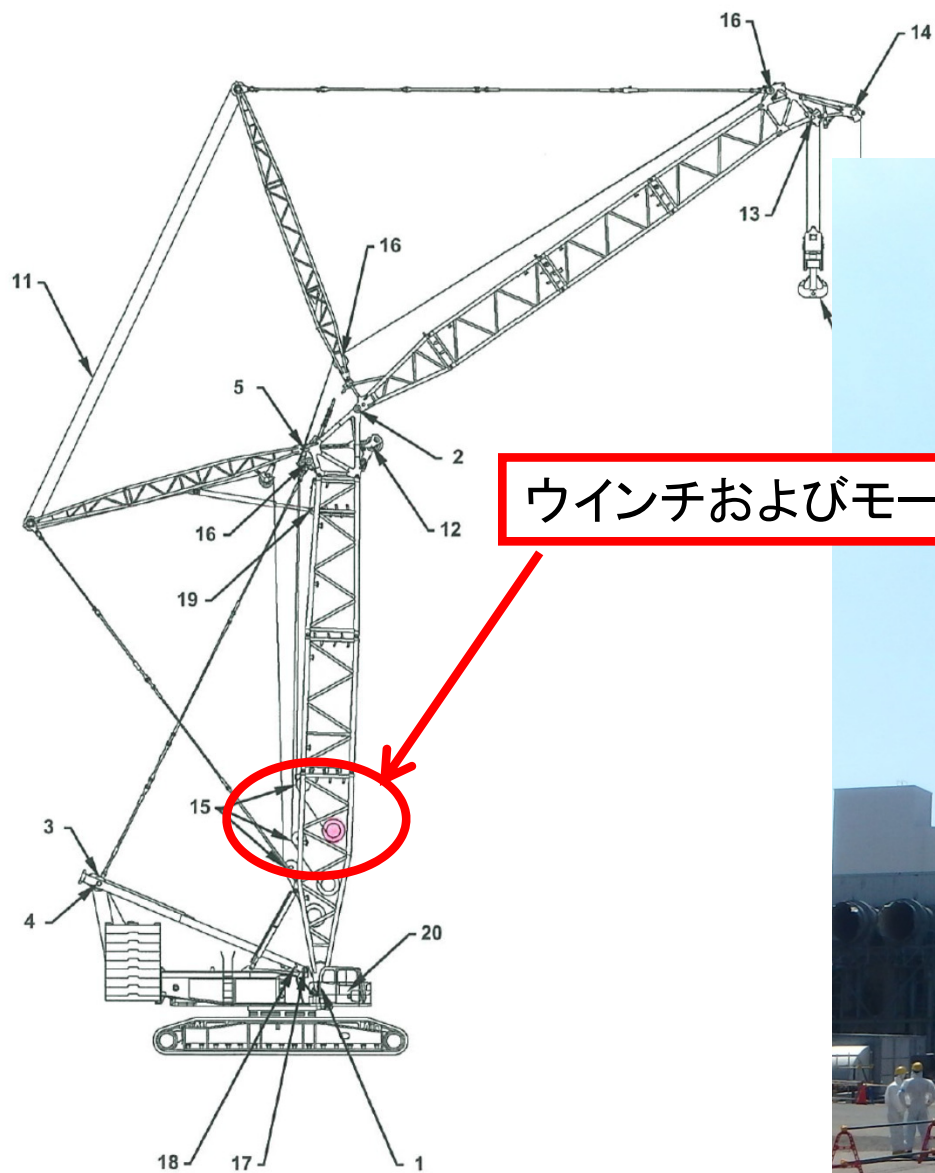
- 8:30 600tC/C 1号機 始業前点検開始
- 9:30 始業前点検終了 エンジンスイッチON
- 9:50 スカイジャスター（吊り治具）をトラックから荷下ろし
- 10:15 巻上げ操作をしなくても巻き上がっていることを確認 現地にて状況確認
- 11:00 クレーン作業中止

■ 原因（推定）

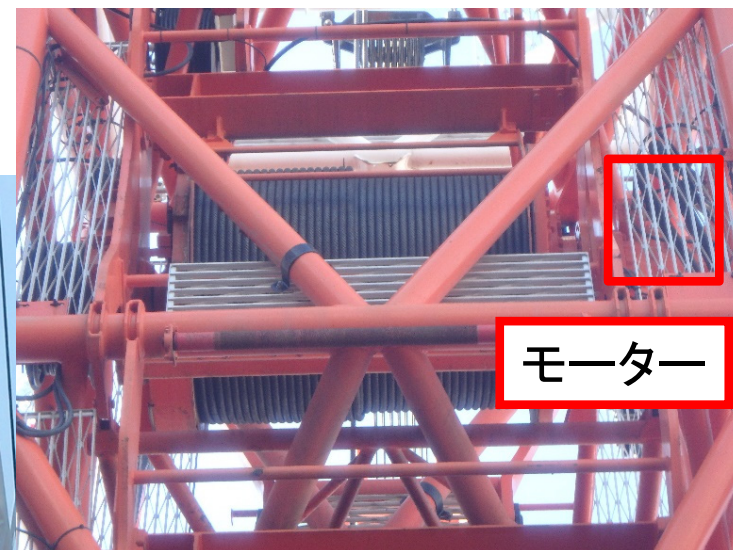
- 巻上げウインチおよびモーターの不具合

■ 今後の予定

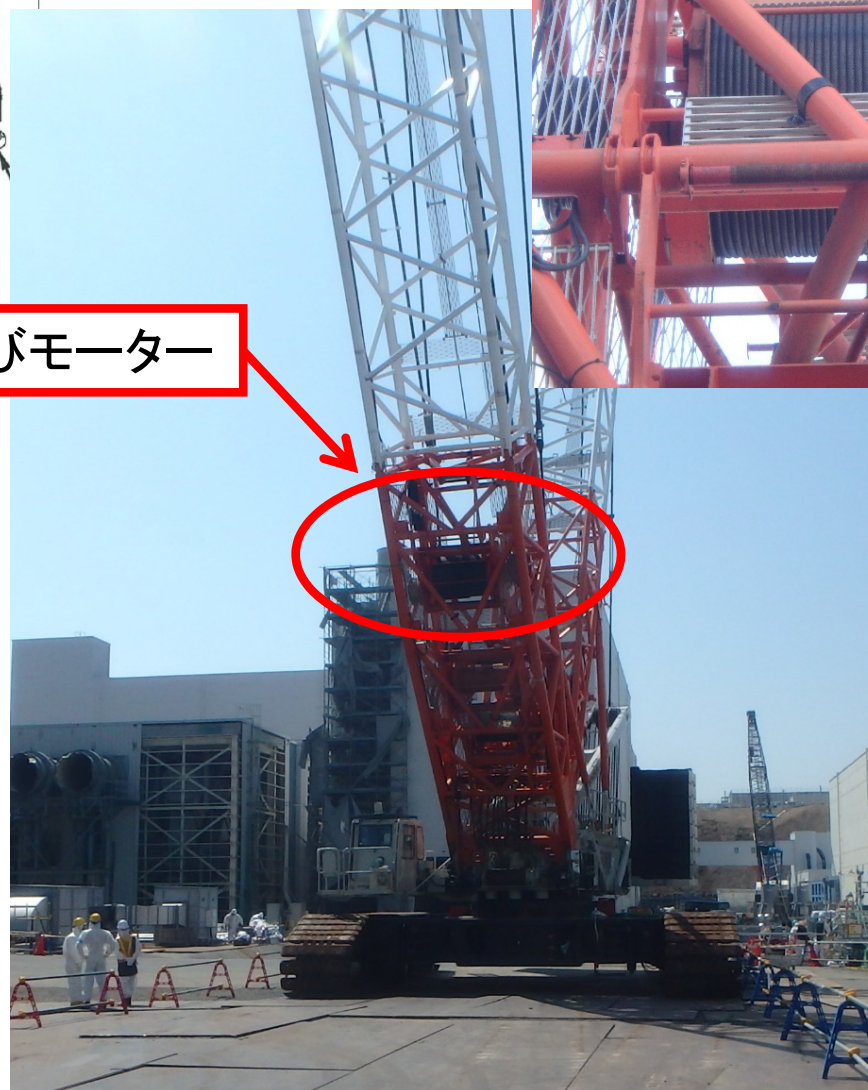
- 4/15より実施している1号機年次点検時に巻上げウインチおよびモーターを交換（5/10～12交換予定 交換した後、メーカーにてモーターの内部調査を実施）
- A工区遮へい体設置工事は2号機にて実施（4/12より開始し、4/22完了）



ウインチおよびモーター



【拡大】



1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

東京電力ホールディングス株式会社

2016.04.28

	1号機	3号機
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。	
頻度	1回/月	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布範囲	<p>【凡例】 ：散布範囲</p>	<p>【凡例】 ：散布範囲</p>
散布面積	1,234m ²	1,060m ²

	1号機	3号機
目的	オペフロ上での（建屋カバー解体や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布対象作業	<ul style="list-style-type: none"> • 屋根パネル外し • 支障鉄骨撤去 • 壁パネル外し 等	<ul style="list-style-type: none"> • 除染 等

3.定期散布の実績及び予定

【凡例】
 : 計画散布範囲
 : 実績散布範囲

	計画（4月）	実績（4月）	計画（5月）
1号機	散布日：4月21日 	散布日：4月21日 	散布日：5月21日
3号機	散布日：4月2日 	散布日：4月2日 	散布日：5月10日

4.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲	
3月	日	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)	
	散布対象作業	—	—	—	ガレキ状況調査	—	ガレキ状況調査	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	50	—	9.2	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	5.6	—	3.2	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.15E-4 (最大) ND (最小)	1.13E-4 (最大) ND (最小)	1.11E-4 (最大) ND (最小)	1.03E-4 (最大) ND (最小)	1.56E-4 (最大) ND (最小)	1.01E-4 (最大) ND (最小)	1.65E-4 (最大) ND (最小)	
4月	日	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	-
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.69E-4 (最大) ND (最小)	1.20E-4 (最大) ND (最小)	1.34E-4 (最大) ND (最小)	1.31E-4 (最大) ND (最小)	1.79E-4 (最大) ND (最小)	8.64E-5 (最大) ND (最小)	1.51E-5 (最大) ND (最小)	
	日	10 (日)	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	-
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.55E-4 (最大) ND (最小)	9.63E-5 (最大) ND (最小)	1.51E-4 (最大) ND (最小)	1.03E-4 (最大) ND (最小)	7.73E-5 (最大) ND (最小)	1.17E-4 (最大) ND (最小)	1.23E-4 (最大) ND (最小)	
	日	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	-
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	7.48E-5 (最大) ND (最小)	1.44E-4 (最大) ND (最小)	1.39E-4 (最大) ND (最小)	1.29E-4 (最大) ND (最小)	1.46E-4 (最大) ND (最小)	9.59E-4 (最大) ND (最小)	9.37E-4 (最大) ND (最小)	
	日	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	-
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.01E-4 (最大) ND (最小)	1.01E-4 (最大) ND (最小)	1.13E-4 (最大) ND (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	
5月	日	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	-
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—	
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—	
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=検出限界値（6.0E-7）未満を示す

4.作業時散布の実績及び予定（3号機）

								当該週の散布範囲		
3月	日	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1(金)	2(土)		1日 ~ 2日
	散布対象作業	—	—	—	—	—	除染作業	除染作業		
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	100	100		
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	前:2.5 後:2.5	前:2.5 後:2.5		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.85E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.18E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.92E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.78E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.33E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.24E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.48E-5 (最大) ND※3 (最小)		
4月	日	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	-	
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—		
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—		
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.91E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.60E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.46E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.23E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.78E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.72E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.85E-5 (最大) ND※3 (最小)		
	日	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)		
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—		
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—		
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.94E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.45E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.39E-5 (最大) ND※3 (最小)	1.98E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.46E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.53E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.59E-5 (最大) ND※3 (最小)		
	日	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)		
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—		
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—		
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.33E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.83E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.20E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.02E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.66E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.89E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.77E-5 (最大) ND※3 (最小)		
	日	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)		
散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—			
散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—			
平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—			
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.74E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.69E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.57E-5 (最大) ND※3 (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)			
5月	日	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	-	
	散布対象作業	—	—	—	—	—	—	—		
	散布面積合計 (m2)	—	—	—	—	—	—	—		
	平均散布量 (L/m2・回)	—	—	—	—	—	—	—		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)		

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=検出限界値(4.8E-6)未満を示す

平成28年4月27日時点

【1号機原子炉建屋カバー解体工事】

■ 3月31日（木）～4月27日（水）主な作業実績

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 散水設備設置（ノズルユニット設置）
- ・ ガレキ状況調査（調査用装置適用性の確認）
- ・ オペフロ調査

□ 今月



撮影：H28.4.23
全景(北西面)

□ 作業進捗



撮影：H28.4.6
ノズルユニット設置状況（東面）

■ 4月28日（木）～5月25日（水）主な作業予定

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 散水設備設置（ノズルユニット設置、散水設備配管接続）

■ 備考

- ・ なし

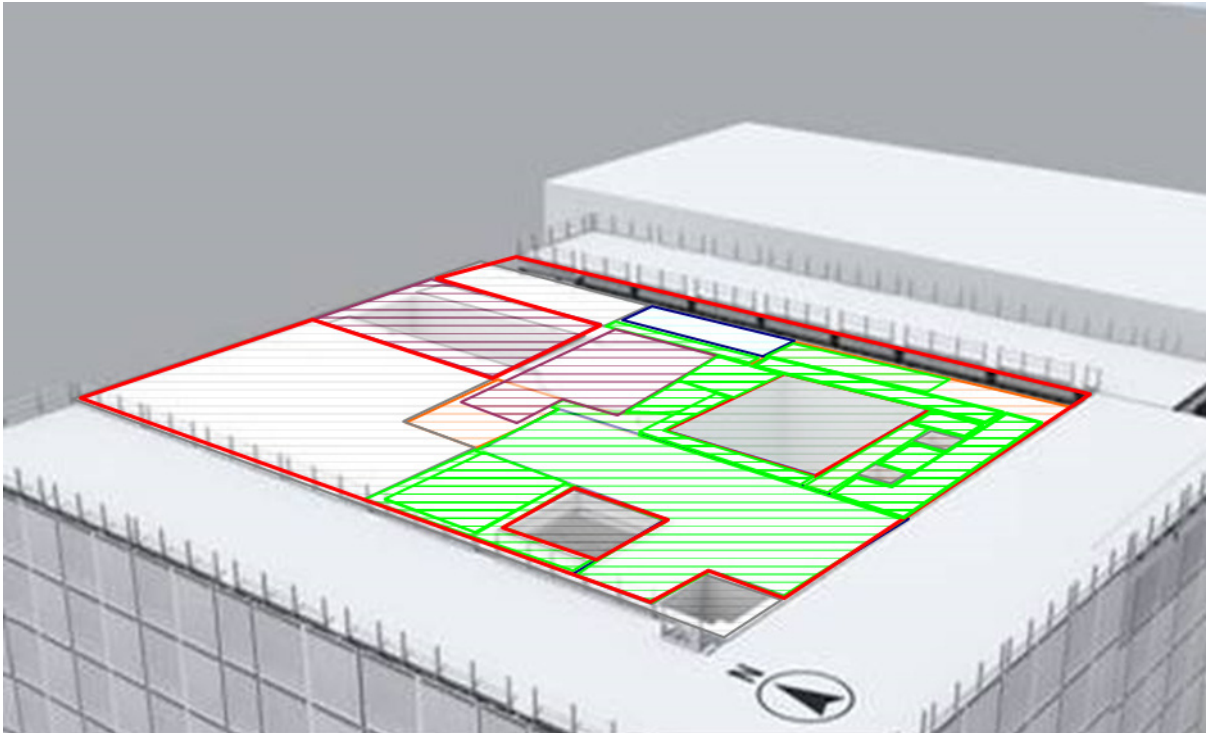
以 上

【3号機原子炉建屋上部除染・遮へい工事】

■ 3月31日（木）～4月27日（水）主な作業実績

- ・ R/B上部除染（ガレキ集積、ガレキ吸引）
- ・ R/B上部A工区遮へい体設置
- ・ R/B上部新燃料貯蔵庫ハッチ蓋撤去
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

□作業進捗イメージ図



【凡例】

- 除染対象外 ▨ ガレキ集積 ▨ ガレキ吸引 □ 床表層切削 ▨ 遮へい材設置
□ SFP内ガレキ撤去 □ 追加飛散防止剤散布

※除染・遮へい対策手順：ガレキ集積→ガレキ吸引→床表層切削→遮へい材設置

■ 4月28日（木）～5月25日（水）主な作業予定

- ・ R/B上部新燃料貯蔵庫ハッチ蓋・グレーチング撤去
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

■備考

- ・ R/B：原子炉建屋
- ・ SFP：使用済燃料貯蔵プール
- ・ 飛散防止剤散布：当該月の作業進捗に合わせた追加散布（作業前、作業後）及び定期散布のエリアのみを記載

以 上

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,412	1,412	48.2%	2,930	キャスク基数28(容量:50基)
共用プール	24	6,702	6,726	98.9%	6,799	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

